

|| 聖火リレーランナー スペシャルインタビュー ||

# 灯を 未来へつなぐ

7月24日(金)祝から8月9日(日)までの17日で「東京2020オリンピック」が開催されます。3月26日には、福島県で「東京2020オリンピック聖火リレー」がスタート。県内では13市町村で実施され、5月7日(木)に聖火は菊池市を通過します。菊池市を走るランナーは13人。その中には、陸上競技の短距離でロンドン五輪に出場した江里口匡史さん(巨区出身)も走行します。

## 江里口匡史さん

2012年ロンドン五輪では100<sup>ヤード</sup>と4×100<sup>ヤード</sup>リレー(4位入賞)に出場。100<sup>ヤード</sup>自己ベストは10.07秒。平成30年7月に引退。

聖火ランナー  
インタビュー

1

ロンドン五輪に出場した江里口さんに、聖火ランナーとして地元を走る思いを聞きました

オリンピックの雰囲気を感じてほしい

東京2020オリンピックはもともと選手として出場を目指していました。ケガで選手として出場することは叶いませんでしたが聖火ランナーの話聞いて、すぐに応募しました。選手とは違う形ですが、オリンピックに関われること、生まれ育った菊池市を走ることができてうれしいです。

ロンドン五輪で一番記憶に残っているのはスタートのピストル音。緊迫感のある雰囲気の中に響く音は忘れることができません。オリンピックの競技会場に入ることができるのは選手と限られたスタッフだけ。会場のピリピリとした緊張感やスタンドの熱気は競技人生で体験したことがないものでした。

私は初めからオリンピック



市役所正面玄関前の聖火リレー決定を祝う看板の横に立つ江里口さん

聖火リレーは身近でオリンピック・パラリンピックに関わることができる絶好の機会です。聖火ランナーを通してオリンピックの雰囲気を伝えたいですね。



うちだ まさと  
内田政朝さん(上赤星)

## 今まで支えてくれた人たちに 感謝を込めて

前回の東京オリンピックの時は限府中学3年生。当時は水泳部に所属し、毎日練習に明け暮れました。練習の甲斐もあり、全国中学校体育大会の背泳ぎ(100メートル・200メートル)で優勝。そのおかげで、未来の日本代表候補として、東京オリンピックを見学することができました。会場で衝撃を受けたのは外国人選手の手の体の大きさと泳ぎの強さ。当時は外国人をほとんど見たことがなく、迫力に圧倒されるばかりでした。現在は今までの経験を生かして市水泳協会理事とし

て活動しています。子どもたちに向けた水泳教室を開催していて、37年間続けることができました。これは行政、協会、市民の皆さんが協力してくれた結果ですので、支えてくれた周りの人たちにはとても感謝しています。オリンピックを目指していた時期もあったので、今回このような形で関わることができ、光栄です。聖火リレーを走ることができるとは私1人の力ではありません。周りの人たちがや今まで支えてくれた人たちに感謝して走りたいですね。

### オリンピック事前学習

#### 子どもたちも聖火が楽しみ

3月4日に市職員が菊池幼稚園の年長組、年中組に事前学習を行い、クイズや塗り絵を通して聖火リレーの意義や魅力を伝えました。クイズでは「聖火はこの国から持ってきたものでしょう?」「トーチのモチーフは?」などの問いに園児たちは元気に回答しました。

学習後、聖火リレーを盛り上げるためメガホンを作成。子どもたちは笑顔で作業を行い「早く聖火ランナーを応援に行きたい!」と本番を待ち遠しく感じているようでした。



1\_メガホン作り 2\_オリンピッククイズは大盛り上がり

### 聖火リレーに伴う限府地区の交通規制について

#### 交通規制

5月7日(木) 正午~午後2時30分

- 全面交通規制区間 (聖火リレールート)
- 全面交通規制区間
- 大型車通行規制区間

#### 東京2020オリンピック聖火リレー【菊池市】

- || とき || 5月7日(木) (予定)  
午後1時20分~2時10分
- || スタート || 菊池市生涯学習センター (キクロス)
- || ゴール || ふるさと創生市民広場

新型コロナウイルス感染症の影響により聖火リレーの内容や交通規制の時間が変更になる場合があります。最新情報はホームページをご確認ください。

